

JP クロマトグラフィー総論に基づく メソッド最適化のコツ - LC カラムの選択と OpenLab CDS による データ管理 -



この度アジレントでは、JPクロマトグラフィー総論および USP <621> の要点を踏まえ、公定書メソッドの最新化・効率化をテーマとしたウェビナーを開催いたします。

昨今、日本の品質管理ラボでは、

- 公定書との整合性を保ちながら分析効率を向上させたい
 - カラム変更の許容範囲を正しく理解したい
 - データインテグリティを強化し、メソッド移管をより確実にしたい
- といったニーズが高まっています。

本ウェビナーでは、JP 総論の基本原則に沿ったメソッド最適化の考え方を解説するとともに、Poroshell / ZORBAX カラムを活用した分析性能向上の事例、さらに OpenLab CDS によるデータ管理・SST 運用の効率化について、実務的な観点からわかりやすくご紹介します。ぜひご参加ください。

参加対象

- 製薬企業・受託分析機関の品質管理 / 品質保証担当者
- HPLC / UHPLC メソッド開発・改良に携わる技術者

プログラム

15:00 - 15:05	はじめに
15:05 - 15:25	JP クロマトグラフィー総論および USP <621>の要点整理 許容されるカラム変更範囲と実務上の判断ポイント Poroshell / ZORBAX カラムによるメソッド最適化の事例 アジレント・テクノロジー株式会社 澤田 有司
15:25 - 15:45	OpenLab CDS を活用したデータ管理 アジレント・テクノロジー株式会社 外山 大純
15:45 - 15:55	質疑応答

ライブウェビナー

2026 年 4 月 9 日 (木)
15:00 - 16:00

参加費 | 無料

開催方法 | ウェビナー形式

申込方法 | 本セミナーページから
お申込みください。



<https://aglt.co/SyQW>

▲ お申し込みはこちら ▲

お問合せ先 |
アジレント・テクノロジー(株)
セミナー事務局
電話 : 0120-477-111
lscs_seminar@agilent.com